

2014. 12. 1

いのちあらわしの議会



11月15日開催 全町子ども議会 ~本会議場にて~

主な内容

- こんなこと決まりました 2~4 P
- 決算認定 5~7 P
- 議員提案の条例を制定 8~9 P
- 行政報告 10~11 P
- 一般質問
 - この課題に質問が集中 12~13 P
 - ここが聞きたい一般質問 14~25 P
- 議会活動 26~27 P
 - 特集「厚生文教常任委員会」・各委員会活動報告
- 懲罰動議を可決 28 P
- 町民のご意見 29 P
- 議会の動き 30 P

空き家の適正管理に関する条例を制定



3月の第1回定例会に提案された条例案を総務常任委員会に付託し、継続審査を行っていました。後志管内で検討された廃屋・空き家モデル条例、秋田県大仙市や室蘭市などの先進地の条例との比較検証や条文の逐条審査を行いました。一部文言の修正や新たに設置される審議会と町の役割や責務を整理し、緊急安全措置は審議会に諮らず可及的速やかに対処するよう

空き家が適正な管理を目的とする条例です。空き家の適正な管理や有効活用が求められます。

条例の制定

に修正しました。

また、5年後には二セコひらふ地区で急増しているコンドミニアムに対する将来的な不安解消のため適正管理が行われるように必要な措置を講ずることを附則として付け加えた修正案が委員会より提案され、賛成多数で修正案を可決しました。

第3回定例会

3月より総務常任委員会で審査していた「空き家の適正管理に関する条例」と議員提案による「ニセコひらふ地区エリアマネジメント条例」(詳細は8~9頁参照)を議決しました。



煙突が折れ、下屋が崩壊している空き家

一般会計と国民健康保険事業特別会計の補正予算のほか、条例の一部改正が1件、規約の変更協議と教育委員の同意などの審議を行い、すべて原案のとおり可決・同意し、4件の意見書を採択しました。また、総務常任委員会で採択された陳情は本会議で否決されました。本会議中に懲罰動議が発議され、委員会審議を経て懲罰が決定しました。(詳細は28頁参照)

ニセコひらふ地区 エリアマネジメント条例を 制定



コンドミニアムが急増している樺山地区



議員提案による条例が初日に提出され、総務常任委員会に付託となりました。本会期中に集中審議が行われ、一部修正された委員会の修正案が提出されました。多数の傍聴者や新聞報道が行われる中、本会議の審査・討論が行われて、採決の結果、9対6の賛成多数で可決しました。

国際リゾート化が進み多くの外国人観光客で賑わっているニセコひらふ地区ですが、反面、新たな課題も増えています。

課題解決や将来に向けた地区住民・事業者の主体的な取組を積極的に支援し、地区の良好な環境や価値を向上していく新たな仕組みによるまちづくり活動の推進を目的として提案された条例です。

今後、活動団体の組織化や事業活動の計画が行われるとともに、事業費の徴収条例制定に向けた検討が行われていきます。
(詳細は8・9頁参照)

ニセコひらふ地区 エリアマネジメント 条例の制定

老人デイサービスセ ンター設置管理条例 の一部改正

町内唯一の公衆浴場が9月いっぱい廃業となり、市街地での公衆浴場が無くなります。老いの浴場を自宅に入浴施設を持たない方に利用してもらうための条例の改正です。

陳情・意見書

●秘密保護法の撤廃 を求める陳情

第1回定例会で付託された総務常任委員会より陳情の趣旨について概ね理解でき『採択すべき』との審査報告がありました。本会議で審議の結果、賛成7反対8となり否決としました。

●住民の安全・安心 を支える「国の出先機関」の拡充を求め、 「公務の民営化・独立行政法人化・業務 委託化」に反対する 意見書を求める陳情

第2回定例会で付託された総務常任委員会より『採択すべき』との審査報告がありました。本会議での審議の結果、賛成多数で可決いたしました。

意見書は、4件採択しました。
(詳細は28頁参照)



デイサービスセンターの浴場

補正予算

一般会計補正予算

(第3号)は、1億7561万6千円を増額し、総額76億9006万円としました。

25年度の繰越金を財政健全化基金として1億2400万円積立金とすることが主な要因です。

その他の事業として、

消防施設用地購入

消防庁舎に隣接している用地を購入し、狭隘している用地を拡大し日々の訓練の充実を図るためする土地にある建物の解体撤去費も計上しました。

除雪対策費

労務単価と燃料費等が上昇していることから、除雪業務委託費と排雪業務委託費、計2035万円を追加計上しました。

花園牧場給水等

昨年行つた花園牧場の水源施設工事の結果、既存給水管の老朽化等による給水量不足が発生しました。改善策として配水池を設置し給水量の確保を行うための設計委託や工事費を1177万円計上しました。

議員から「一部の取替えで改善しない場合、再工事となる。全部取替えはどうか。」などの質疑がありました。状況を見ながら年次的に対応することにしました。

公衆浴場確保等

公衆浴場の廃業に伴う老人デイサービスセンターの浴室利用に伴い、燃料費や清掃費を計上し、浴場確保成金の廃止で、差引き68万円を増額しました。

報告

専決処分

平成25年度健全化判断比率の報告があり、実質公債費率が11%、将来負担比率58・1%で共に基準値を下回っています。また、公共下水道事業、地方卸売市場事業、水道事業の各会計の資金不足比率が算出されず良好との報告を受けました。

土地開発基金運用状況は、前年基金総額に預金利子分が増額となっています。

1月に発生したじやがりん号の乗客のけがに対する損害賠償額が6月末に決定し、示談による処理を行つた旨の報告がありました。正規の車両が修理中で公用車の代替車での事故のため、賠償金は町の負担となつています。



教育委員会委員の同意

町教育委員に赤塚洋昭さん(72)を再任することに同意しました。9月30日で赤塚さんの任期が満了となるために、再任したものです。任期は10月1日から4年間です。

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。他の議案については、全員が賛成しました。

審議結果	議案名等	樋口 敏昭	笠原 啓仁	竹内 隆	作井 繁樹	田中 義人	伊達 隆	磯田 龍一	佐名木幸子	榎 政信	原田 芳男	森下 義照	鈴木 芳幸	盛多 勝美	阿部 和則	三島 喜吉
第3回 定例会																
否	陳情第10号 秘密保護法の撤廃を求める陳情	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×
可	平成25年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成25年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成25年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	平成25年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	俱知安町エリアマネジメント条例の制定	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可	竹内隆君に対する懲罰の動議	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

鈴木保昭議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対、△は退席、-は退席

平成25年度

決算審査特別委員会

各会計決算を認定

平成25年度の一般会計や国民健康保険事業特別会計など5つの特別会計と水道事業会計の決算を審査するため、定例議会初日の9月3日、議員8名（樋口・作井・田中・伊達・磯田・榎・盛多・阿部）による決算審査特別委員会を設置しました。

委員長が本会議において委員会の審査結果を報告しました。

決算審査特別委員会での主な質疑

■一般会計

Q 防犯灯のLED化の進捗状況と今後の計画は。

A 全町内会の防犯灯は1579灯あり、昨年までに162灯行つた。年間約60灯を交換しているので、さらにLED化を促進していく。

Q ふるさと応援基金の使い道は。

A 寄付者の寄付目的に沿った事業に振り分けて使わせて顶きました。

Q 有害鳥獣駆除事業の概要説明を。

A 基本の有害鳥獣駆除の他、特にクマの

出没にかかる巡回を獣友会に委託している。

Q ふるさと応援寄附者への特産品の寄贈・返礼を実施する気はあるか。

A 道内では、特産品のPR・町のPRを兼ねて特産品の寄贈・

返礼を積極的に展開している事例もあるが、本町は実施していない。

本町では、札状と使い道の報告をしている。

A 税収入の増加の面からも重要なので、町としても方策を検討する。

Q 若年雇用者を取り込む住環境整備の施策はあるか。

Q 倶知安町民が他の自治体に寄付して税控除を受ける場合があるので、前向きな検討を。

Q 予算の弾力的な運用をどう考える。

A 弹力的な運用が可能なものは、隨時対応していくたい。

A 道内の事例・全国的な事例を参考し検討していく。

Q 全体的に未収入額が減っている。ぜひ

理事者として職員が評価してもらいたい。

A 平成25年度は、役場施設全体で1億2

円を3町（俱知安町・二七町・蘭越町）で負担している。

A 全体予算500万円を3町（俱知安町・二七町・蘭越町）で負担している。

Q ニセコ観光圏協議会の全体予算は。

Q ふるさと応援寄附者への特産品の寄贈・返礼を実施する気はあるか。

A 担当職員は随分頑張つており、私どもも喜んでいる。今後も一生懸命取り組んで行く。